

伊豆半島ジオ検定 2025(1・2 級)

問題用紙 (解答・解説入り)

検定時間

14 : 00～15 : 30 90 分間

配点 (合計 50 点)

選択問題	10 問	10 点
難読地名問題	3 問	3 点
ならべかえ問題	3 問	3 点
地質問題	4 問	4 点
地形問題	2 問	4 点
動植物問題	8 問	8 点
なりたち問題	18 問	18 点

合格基準

45 点以上	1 級合格
35 点以上、45 点未満	2 級合格

試験に関する注意

- ・ 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・ 解答用紙の記入は鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- ・ 誤って記入したときは、跡が残らないように消しゴムで消してください。
- ・ この問題用紙は持ち帰り可能です。

2026 年 1 月 18 日
(一社) 美しい伊豆創造センター

開始の指示があるまで問題用紙をひらかないこと。

名 前 :

■選択問題(配点:10点)-----

Q1 普通、海岸に多く生育するものの、伊豆の国市大仁の水晶山などの内陸部にも群生が確認されている植物は？

A:シャリンバイ B:ウバメガシ C:トベラ D:ヒメユズリハ

解説:海岸に多いウバメガシが内陸部の水晶山でも見られます。この山は、伊豆が海底火山だったところの地層。(伊豆ジオ100)

Q2 南伊豆町で伝承される「小稲の虎舞」、題材となっている人形浄瑠璃の作品名は？

A:仮名手本忠臣蔵 B:冥途の飛脚 C:国姓爺合戦 D:菅原伝授手習鑑

解説:毎年旧暦中秋の名月の前夜に小稲来宮神社の祭礼で奉納される芸能である。小稲海岸に設置した「虎山」と称する舞台において、虎の縫包に二人の青年が入り、虎の仕業を真似た軽業的な動作を演じる。次いで『国姓爺合戦』の和藤内に扮した若者が格闘の末に虎を退治する次第を演じる。(静岡県しずおか文化財ナビ参照)

Q3 太宰治が三島で過ごした日々を書いた「老ハイデルベルヒ」で、知人高部佐吉に案内されて訪れた温泉は？

A:船原温泉 B:古奈温泉 C:吉奈温泉 D:伊豆畑毛温泉

解説:「その夜は佐吉さんの案内で、三島からハイヤーで三十分、古奈温泉に行きました。」(老ハイデルベルヒ一節)

Q4 現在の奈良県五條市にルーツを持つと伝えられる、伊豆の歴史に大きな足跡を残した一族は？

A:北条家 B:五条家 C:井上家 D:江川家

解説:江川文庫(伊豆の国市)に伝わる文書によれば、江川家の始祖は大和源氏とされる。6代～8代まで大和国宇智郡宇野荘(現在の奈良県五條市)に土着し宇野姓を名乗り荘園管理に懸命な努力を重ねるが、9代宇野親信が平安末期に伊豆の山木に移住した。

Q5 2025年、伊豆半島ジオパークが他のジオパーク地域と協力して展開していた巡回展「ジオパークでえがく 黒潮の道」にあてはまらないジオパークはどこ？

A:南紀熊野ジオパーク B:下北ジオパーク C:室戸ジオパーク D:土佐清水ジオパーク

解説:「ジオパークでえがく 黒潮の道」は黒潮の潮流域のジオパークで構成している。下北ジオパークは黒潮の潮流域には入っていない。

Q6 『ジオパークからはじめる地域づくり・人づくり』の著書の中で、地域からのお金の漏れを塞ぎ、好循環をつくる地域内経済循環の考え方を示す理論は、なんと呼ばれている？

A:漏れバケツ理論 B:藁の犬理論 C:割れガラス理論 D:ホテルカルフォルニア理論

解説:『ジオパークからはじめる地域づくり・人づくり』第七章枝廣淳子・新津尚子「ジオパークと地域内経済循環」p144-147

Q7 鮎壺の滝では、溶岩が流れてきた際に巻き込んだ「ある物」の跡が観察できます。「ある物」とは？

A:古墳 B:橋 C:樹木 D:住居

解説:およそ1万年前に富士山から流れてきた溶岩流で、かつてそこに生育していた樹木が立ったまま焼かれたことを示す溶岩樹型の丸い穴が見られます。(伊豆半島ジオパーク Web サイト)

Q8 下田市の白濱神社は伊豆諸島のうち、ある島が見えにくい立地を故意に選んだとされる。その島は？

A:八丈島 B:御蔵島 C:新島 D:神津島

解説:神津島は三嶋神の本后「阿波咩命」、白濱神社は後后「伊古奈比咩命」の在所とされ、本后を憚ったとされる。(國學院大學博物館「三嶋の神のモノガタリ」図録参照)

Q9 土肥温泉発祥ともされ、坑道から湧き出す湯の槽がある、安楽寺の湯といえば？

A:まぶ湯 B:楠の湯 C:世古の湯 D:しおさいの湯

解説:金鉢の中より湧き出した土肥温泉発祥の湯。曹洞宗の古刹、安楽寺の境内にあり、別名医王泉とも呼ばれている。(伊豆市観光協会 土肥支部)

Q10 海そうは、海藻と海草の両者を指す。次のうち、海藻ではなく海草であるものはどれ？

A:アオサ B:コンブ C:テングサ D:アマモ

解説:アマモは種子植物である海草で、他の3種は藻類。

■難読地名(配点:3点)-----

次の地名の読み仮名は次のうちどれか。

- Q11 寺家(伊豆の国市) A:じか B:じけ C:じや D:じいえ
Q12 新宿(清水町) A:しんしゅく B:しんじゅく C:あらしゅく D:あらじゅく
Q13 納米里(長泉町) A:のまり B:なまり C:のめり D:なめり

■ならべかえ問題(配点:3点)-----

Q14 次のジオパークをエリア面積が広い順に並べよ。(①→②→④→③)

- ① 山陰海岸 2,458K m²
② 伊豆半島 2,027K m²(海域を含む)
③ 室戸 248K m²
④ 糸魚川 746K m²

解説:山陰海岸 GP は京都府、兵庫県、鳥取県にまたがる広大なジオパーク。伊豆半島 GP は15市町から構成され海域も含むエリアを有する。室戸 GP、糸魚川 GP は1市で構成されています。

Q15 次の作品の舞台となった伊豆半島の場所を北から順に並べよ。(③→①→④→②)

- ① 修善寺物語(岡本綺堂) 伊豆市修善寺
② 月澹荘綺譚(三島由紀夫) 下田市
③ 夏草冬濤(井上靖) 沼津市千本浜など
④ 本心(平野啓一郎) 河津町七滝など





Q16 ユネスコに関する次の事柄を年代が古い順に並べよ。(④→③→②→①)

- ① ユネスコ世界ジオパークネットワークの設立 2015 年
② リオデジャネイロで開催された地球サミット 1992 年
③ 世界遺産条約の発効 1972 年
④ ジュリアン・ハクスリーの初代事務局長就任 1946 年

解説:ユネスコ世界ジオパークネットワークは 2015 年に成立した非常に新しい事業です。初代事務局長(1946-1948 年)ハクスリーによる世界平和を究極の目標とする理念、人類共通の遺産の保全(1972 年世界遺産条約)と持続可能な開発(1992 年リオデジャネイロ宣言)への貢献のすべてをミッションとして受け継いでいます。

■地質問題（配点：4点）-----

それぞれの写真に関連の深い地層を選択肢から一つずつ選べ。

			
黒根岬	石廊崎	下白岩	滝山不動の滝
(Q17) ⑤	(Q18) ③	(Q19) ②	(Q20) ④

① 仁科層群 ② 湯ヶ島層群 ③ 白浜層群 ④ 熱海層群 ⑤ 伊豆東部火山群 ⑥ その他

解説：

Q17:黒根岬(東伊豆町)は、伊豆東部火山群の活動で約1万9千年前、稲取火山の溶岩流が海に流れて形成された地形で、玄武岩質の溶岩が作る海食崖や岩場が広がります。

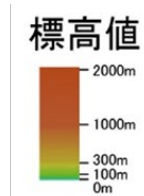
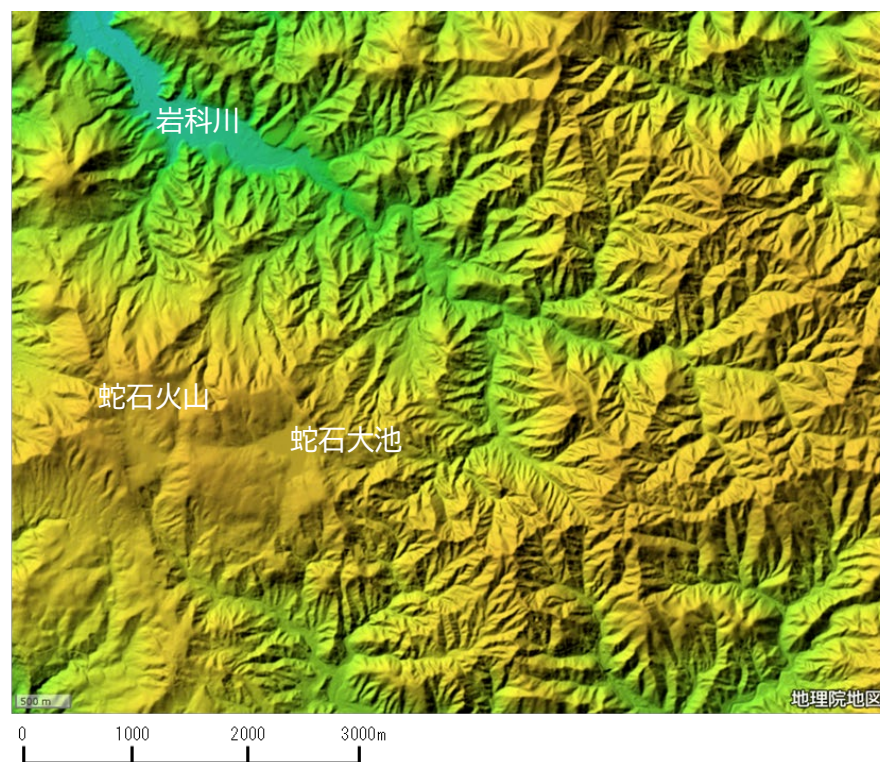
Q18:石廊崎(南伊豆町)は伊豆半島最南端に位置し、白浜層群と呼ばれる海底火山の噴出物が堆積した地層が広がる場所で、水冷破碎溶岩や海底土石流堆積物、火山灰・軽石などがゴツゴツした断崖を形成しており、伊豆半島の海底火山時代から陸上火山時代への変遷を物語る伊豆半島ジオパークの重要な見どころです。

Q19:下白岩(伊豆市)周辺に分布する湯ヶ島層群の地層は、約1100万年前の温かい南洋の海底で形成された地層で、大型有孔虫(レビドシクリナなど)の化石が豊富に含まれる石灰質砂岩として知られ、伊豆半島が南から移動してきた証拠とされる重要な地層です。

Q20:熱海火山の溶岩の端にかかる、伊豆の国市にある滝です。大型陸上火山の時代、およそ40万年前まで噴火を繰り返してきた熱海火山は、現在の玄岳や丹那にこの火山の噴出中心があったと考えられています。

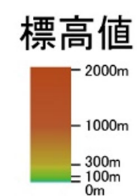
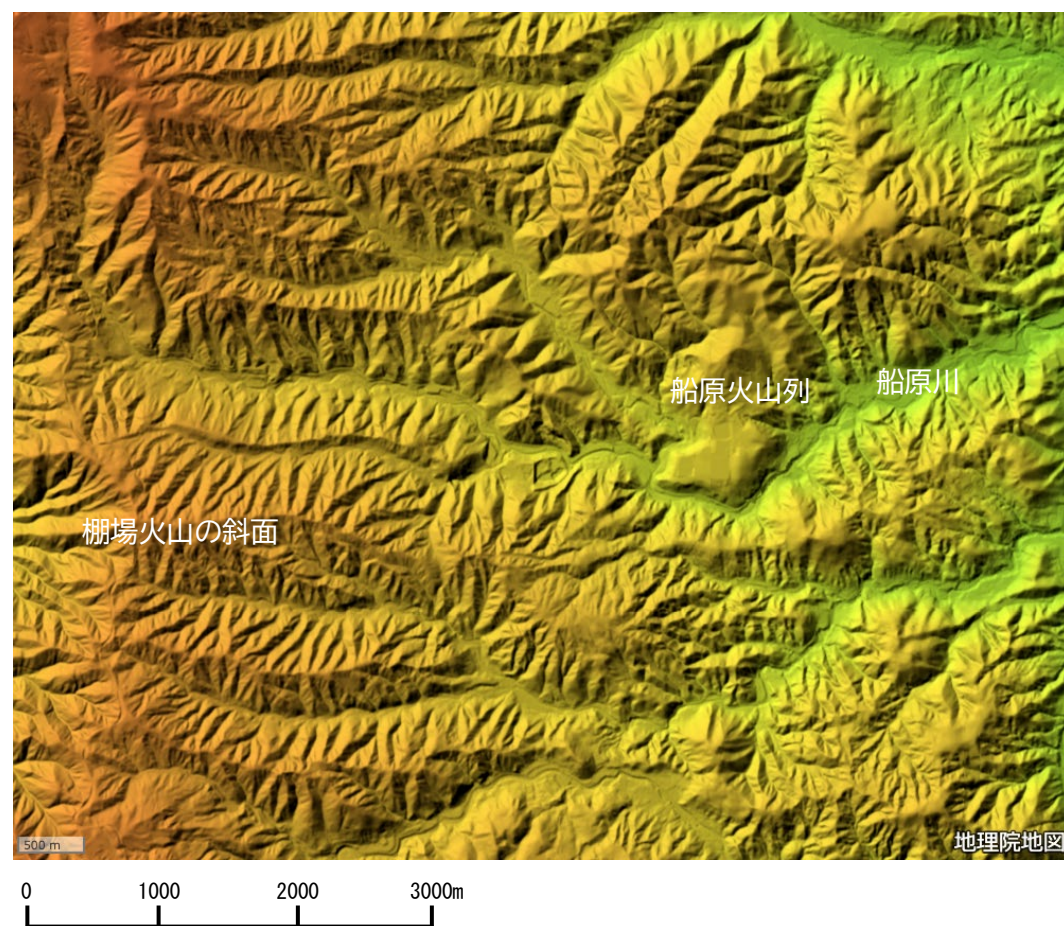
■地形問題（配点：4点（1問あたり2点））-----
以下の場所はどこか。次ページの地図から番号を選びなさい。

Q21（ ⑪ ）

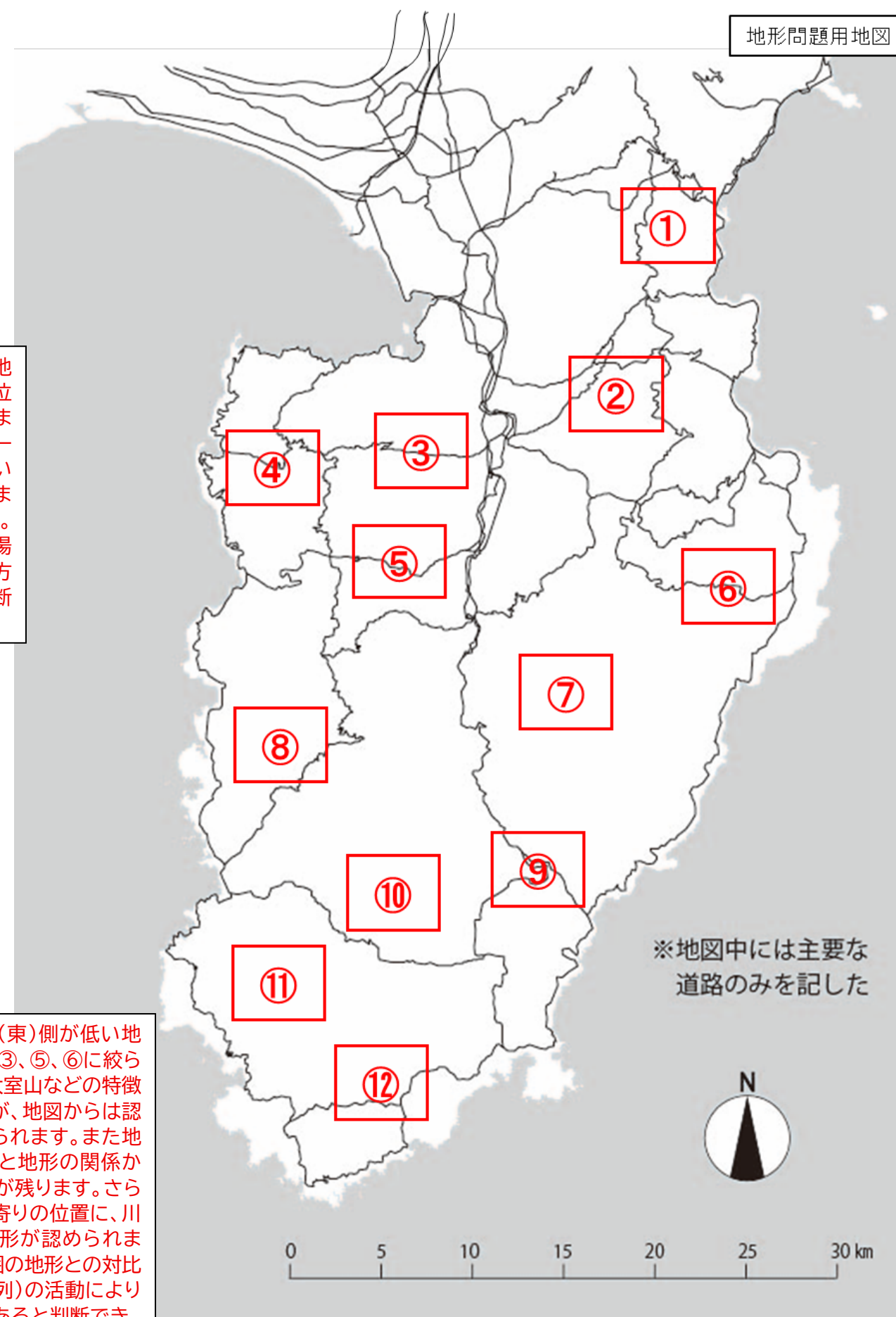


地図の右(東)側が高く左(西)側が低い地形の特徴と、北西に向かって開いた谷の位置から、候補は④、⑧、⑪に絞られます。また全体的に浸食の進んだ地形をしている一方で、左下(南西)部に開析の進んでいない陸上火山(蛇石火山)の地形が読み取れます。これにより候補は⑪のみに絞られます。なお、陸上火山(蛇石火山)の標高の高い場所に湖(蛇石大池)があることに気付いた方は、候補は自ずと⑪に絞られ、すぐに判断できたかもしれません。

Q22（ ⑤ ）





地図の左(西)側が高く右(東)側が低い地形の特徴から、候補は①、③、⑤、⑥に絞られます。このうち、⑥なら大室山などの特徴的な地形があるはずですが、地図からは認められず、①、③、⑤に絞られます。また地図上の主要な道路の位置と地形の関係から、①が除外され、③と⑤が残ります。さらに地図の中央やや右(東)寄りの位置に、川筋を曲げている平坦な地形が認められます。これに注目すると、周囲の地形との対比から、単成火山(船原火山列)の活動により流れ出た溶岩流の地形であると判断でき、⑤だとわかります。



■動植物問題(配点: 8点) -----

以下の写真の場所では、それぞれに特徴的な動植物が観察できます。
それぞれの写真の地名と、その場所に最もふさわしい動植物を以下より選びなさい。

Q 2 3	Q 2 4	Q 2 5	Q 2 6
			
地名 (⑮) 動物 (⑧)	地名 (②) 植物 (⑮)	地名 (④) 植物 (⑲)	地名 (⑪) 動物 (①)
下田沖に浮かぶ神子元島は、海鳥の一種であるカンムリウミスズメの貴重な繁殖地となっています。 (日本野鳥の会)	湿地の開発等で自生地が減少し、国の準絶滅危惧種に指定されています。静岡県内での自生地は一碧湖のみ。 (ジオ看板)	海底火山の噴出物が浸食でえぐられてできた崖のくぼみに安置された子浦三十三観音。周辺のウバメガシ林は魚付き林として大切にされている。(伊豆半島ジオWebサイト)	波勝崎にある波勝崎モンキーベイは東日本最大の野猿の生息地で、300 匹以上のニホンザルが生息しています。

〔地名〕									
①錦ヶ浦	②一碧湖	③境川・清住緑地	④子浦	⑤窪の湧水	⑥弁天島	⑦弓ヶ浜	⑧弥陀窟	⑨今井浜海岸	⑩水晶山
⑪波勝崎	⑫鮎止めの滝	⑬淡島	⑭中木	⑮神子元島	⑯修禅寺奥の院	⑰大池	⑱浮島海岸	⑲城ヶ崎	⑳黄金崎

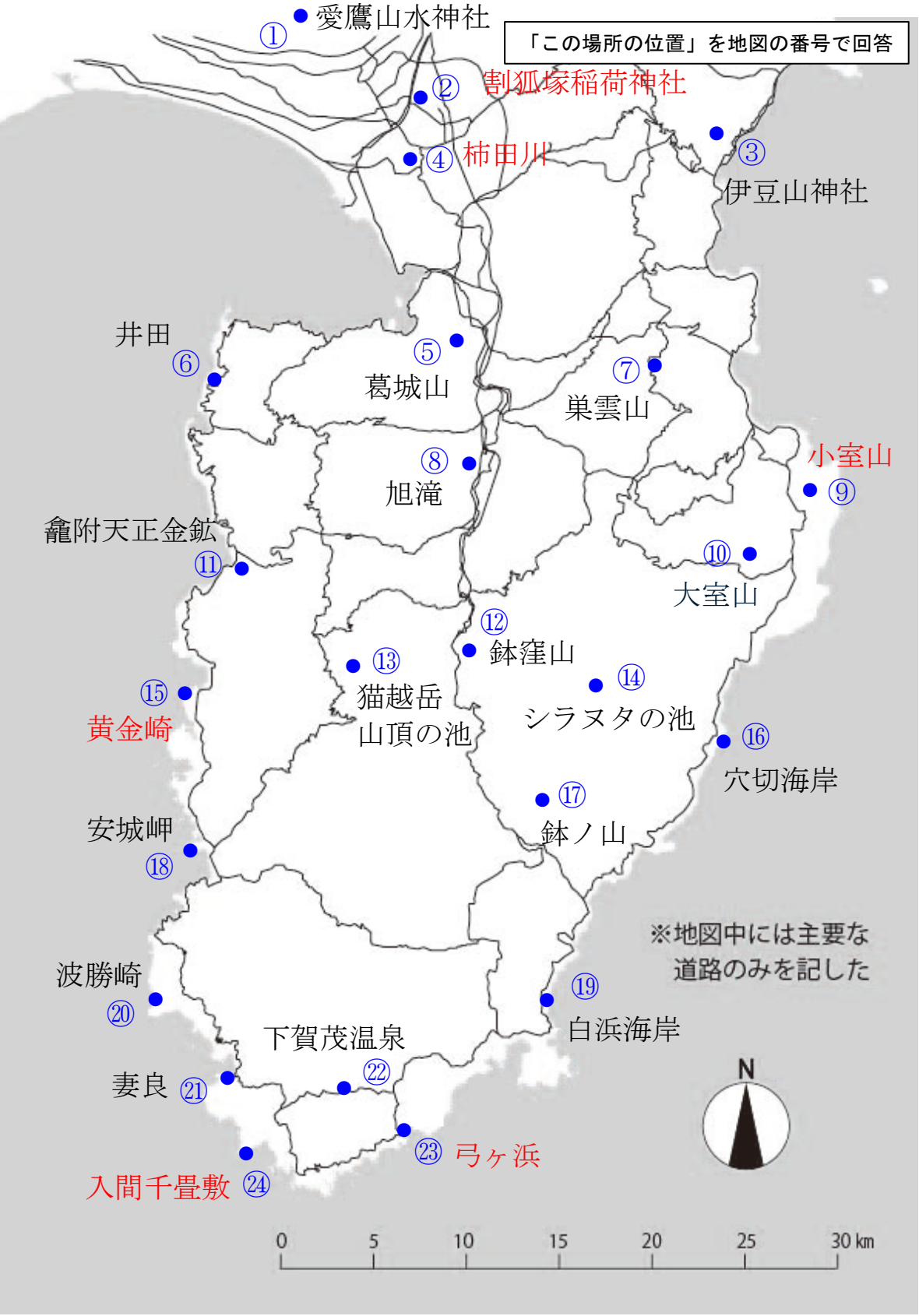
〔動植物〕									
①ニホンザル	②ミシマバイカモ	③サギソウ	④シキミ	⑤イヌマキ	⑥シラカシ	⑦イエネコ	⑧カンムリウミスズメ	⑨ビャクシン	⑩フデリンドウ
⑪カワウ	⑫ニホンイノシシ	⑬クロマツ	⑭アカガシ	⑮チョウジソウ	⑯アホウドリ	⑰マンリョウ	⑱カツオドリ	⑲ウバメガシ	⑳クマタカ

■なりたち問題(配点: 18 点) -----
以下の写真について、それぞれの場所の「名称」、「なりたち」、「位置」を選択肢からひとつずつ選んで解答しなさい。

	
Q27 名称 (L) なりたち (ラ) 位置 (15)	Q30 名称 (H) なりたち (タ) 位置 (9)
	
Q28 名称 (S) なりたち (ソ) 位置 (23)	Q31 名称 (G) なりたち (ホ) 位置 (2)
	
Q29 名称 (X) なりたち (リ) 位置 (4)	Q32 名称 (D) なりたち (ワ) 位置 (24)

「この場所の名称」を以下から選択
A. 穴切海岸 B. 鉢窪山 C. 巢雲山 D. 入間千畳敷 E. 安城岬 F. 愛鷹山水神社 G. 割狐塚稻荷神社 H. 小室山 I. 伊豆山神社 J. 石廊崎 K. 鮎壺の滝 L. 黄金崎 M. 井田 N. 妻良 O. 大室山 P. 旭滝 Q. シラヌタの池 R. 白浜海岸 S. 弓ヶ浜 T. 波勝崎 U. 猫越岳山頂の池 V. 大瀬崎 W. 鉢ノ山 X. 柿田川

「この場所のなりたち」にかかわりの深いものを以下から選択
イ) アア溶岩 ロ) トンボロ ハ) 黒鉱 ニ) 枕状溶岩 ホ) テュムラス ヘ) ホルニト ト) ラバドーム
チ) タフリング リ) 湧水河川 ヌ) メアンダー ル) エスチュアリー ヲ) バソリス ワ) ダイク
カ) フィヨルド ヨ) 広域変成作用 タ) シンダーコーン レ) 火口湖 ソ) サンドスピット ツ) 間欠泉
ネ) ラグーン ナ) カール ラ) 熱水変質作用 ム) マーシュ ウ) 構造盆地 ノ) メランジュ



解説：

Q27:火山が作り出す地熱地帯の地下では、熱水(温度の高い水)によって岩石が変質します。

夕陽に照らされ黄金色に輝くこの岬の岩石の色も、このような変質作用によって染め上げられたものです。

Q28:険しい崖が並ぶ南伊豆の海岸の中にこつぜんと姿を現す弓ヶ浜。

1200m もの美しい弧を描く白砂の海岸は、青野川に流されてきた砂粒が、海流に流され帯状にたまってできた「砂嘴(さし)サンドスピット」という地形です。弓ヶ浜は昔、鯉名の大港と呼ばれ風待ち港として栄えました。

Q29:約 1 万年前の富士山の噴火で流れ出した三島溶岩は、愛鷹山と箱根に挟まれた谷を流れ下り、柿田川付近にまで達しました。亀裂やすき間の多い溶岩流の中を流れてきた地下水は、清水町～三島市の広い範囲に豊かな湧水群を形成しています。柿田川はこの湧水群の中でももっとも規模の大きな湧水で、公園内のいたるところで湧水の湧き口「湧き間」を観察できます。柿田川のような地下水が地表に湧き出して形成される川を「湧水河川」といいます。

Q30:小室山は、大室山と同じ伊豆東部火山群に属する火山で、およそ 1 万 6000 年前の噴火によって溶岩のしづき(スコリア)が火口の周りにふり積もってできた「スコリア丘(シンダーコーン)」です。その山体の小ささからは想像できない多量の溶岩(5億3000万トン)を流出した火山です。

Q31:三島溶岩の溶岩塚とその地形を利用した稲荷神社で、神社の建っている小さな丘には、こつこつした岩の割れ目に沿ってたくさんの赤い鳥居が置かれています。

この岩は約 1 万年前に富士山から流れてきた溶岩で、神社はこの溶岩にできた「溶岩塚(テュムラス)」の上に建っています。流れる溶岩は 1000℃を超える高温ですが、その表面と底は冷たい空気や地面に触れて、すぐに冷え固まってしまいます。溶岩の表面が固まってしまっても、内部の溶岩はまだ流れることができます。行き場を失った内部の溶岩が、表面の「固まった溶岩」を持ち上げて小さな丘のような地形を作ることがあります。これを「溶岩塚」と呼びます。御神域にあたるこの亀裂には、むかし老狐が住みつき夜になると出没したとも言われています。

Q32:入間(いるま)の港から徒歩 40 分、伊豆の秘境ともいえる千畳敷には、海底に降り積もった火山灰や軽石からなる美しい地層が広がります。また、千畳敷の目の前にそびえる三ツ石岬の断崖には、地下から上昇してきたマグマが、白い火山灰の地層を断ち切って上昇していった痕跡である「岩脈(ダイク)」が迫力ある景観をつくり出しています。千畳敷では、かつて伊豆石(軟石)の採石が行われており、火山灰の地層を人工的に切り出した跡も残っています。